

## スタッフ募集



### 新久喜総合病院

新久喜総合病院は、24時間365日「断らない病院」として、地域に必要とされる2次救急に対応し、高度な入院機能の特徴として、急病人や重傷者を治療する医療機関です。

また、災害拠点病院としての機能を有しており、災害派遣チーム(DMAT)及び埼玉県特別機動援助隊(埼玉SMART)として活動しています。

さらに地域医療支援病院として、地域医療のより質の高い医療を提供できるよう病診連携・病病連携・介護連携にも力を入れております。

#### 病院概要

開設：2016年4月1日  
 診療科目：内科/呼吸器内科/循環器内科/消化器内科/代謝・糖尿病内科/腎臓内科/神経内科/外科/肛門外科/消化器外科/心血管外科/呼吸器外科  
 整形外科/脳神経外科/乳腺外科/形成外科/皮膚科/泌尿器科/婦人科/眼科/耳鼻咽喉科/リハビリテーション科/放射線科/麻酔科/救急科/病理診断科  
 病床数：336床 急性期病棟：238床 ICU：8床 HCU：12床 回復期リハビリテーション病棟：98床  
 看護基準：急性期病棟：7対1 ICU：2対1 HCU：4対1 回復期リハビリテーション病棟：13対1  
 救急搬入患者数：月約500件  
 手術件数：月約300件

募集職種 看護師・准看護師・看護助手・薬剤師・検査技師・放射線技師・臨床工学技士・社会福祉士・理学療法士  
 作業療法士・言語聴覚士 ※詳細はホームページをご確認ください。http://shinkuki-hp.jp

■所在地 埼玉県久喜市上早見418-1 ■お問い合わせ先 TEL 0480-26-0033



新棟

### 看護部 新棟OPENのため 募集枠拡大!!

急性期・災害・回復期すべて学べます!現在336床ですが、令和3年4月からは新棟が完成し391床で稼働予定。高度急性期病院として地域から必要とされる医療、24時間365日断らない医療を目指していきます。お気軽に代表電話へご連絡下さい。

☎ 0480-26-0033 (内線:2222)

病床数現在 336床  
 新棟完成後 391床

#### 編集後記

秋と言えば、読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋。  
 皆様はどの秋を堪能されますか?今年は例年とは違った秋になってしまいました。朝晩めっきり涼しくなって参りましたので、体調に気をつけてそれぞれの秋を堪能しましょう。

地域医療支援センター 池主 祐志

新久喜総合病院 広報誌

## ともに vol.11

～患者様と共に、地域の皆様と共に、職員と共に～

医療法人社団 埼玉巨樹の会

### 新久喜総合病院

〒346-8530 埼玉県久喜市上早見418-1  
 http://shinkuki-hp.jp

TEL 0480-26-0033 FAX 0480-44-8026



**お車の場合**  
 県道3号、久喜市上早見の交差点を菖浦方面に曲がり約250m(久喜ICより約3分)

**電車の場合**  
 JR宇都宮線・東武伊勢崎線 久喜駅下車、徒歩約30分

**バスの場合**  
 [朝日バス]久喜駅西口から約10分  
 ▶久西01 久喜駅西口～新久喜総合病院前～菖浦仲橋  
 ▶久西02 久喜駅西口～新久喜総合病院(玄関)～菖浦仲橋

[久喜市市内循環バス]  
 ▶除堀・所久喜循環  
 ▶六万部・北中曽根循環

発行日：令和2年10月1日 担当者：地域医療支援センター 池主 祐志

医療法人社団 埼玉巨樹の会 新久喜総合病院

# ともに vol.11

～患者様と共に、地域の皆様と共に、職員と共に～



院長就任のご挨拶  
 大腸肛門外科のご紹介  
 健康管理センターのご案内

乳腺外科のご紹介  
 超音波内視鏡導入  
 地域医療ネットワーク



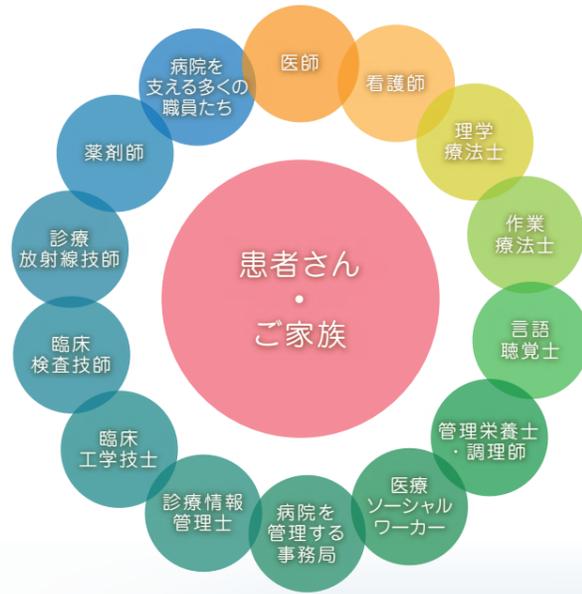
胃胸部検診車(健診巡回バス)稼働中!!  
 企業検診・協会検診行っています。

# 院長就任のご挨拶



院長 志田 晴彦

## 新久喜総合病院の医療チーム



新久喜総合病院はカマチグループの急性期病院で、埼玉県北東部の利根医療圏(久喜市・蓮田市・幸手市・白岡市・宮代町・杉戸町・行田市・加須市・羽生市)の真ん中にあります。救急車は断らずに1日に10~15件、年間4000件を超える数を受けています。心臓疾患、脳卒中、外傷、がんなどの急性期医療をはじめとして対応する疾患は幅広く、新型コロナウイルス感染への対策にも万全を期しています。積極的なリハビリテーションにより早期社会復帰を目指し、検診や健康教室にも力を入れています。入院ベッド数は336床ですが新棟の建築が進行中で、2021年4月には391床の運用開始が予定されています。

地域のみなさまに頼られる良い病院とはどのような病院でしょうか?「医療レベルが高い」「救急を断らない」「外来の待ち時間が短い」「病室や廊下、トイレが清潔」「職員がやさしく対応が良い」など要件は数多くあります。そのような必要条件を目標とした上で、私は職員一人一人が自分の仕事に誇りを持って笑顔で元氣よく動き回る病院こそがよい病院であると信じています。

新久喜総合病院には図にあるようなさまざまな職種合わせて900名をこえる職員がおります。「チーム医療」とは一人一人の患者さんの治療にあたり、多くの医療専門職がそれぞれの役割を担いながら協力し合い、患者さんを大切にすることを常に忘れずに最高の医療を提供することです。輪の中心にいる患者さんご家族もスタッフと一緒に治療を考えていくチームメンバーです、日々医療連携でお世話になっている地域の病院、クリニック、訪問看護ステーションや入居施設も、それぞれの大切な役割を果たしている大きな地域医療チームのメンバーです。

これからも地域のみなさまに信頼される病院として日々努力していく所存です。新久喜総合病院のチーム医療を担う職員たちの心意気を感じとっていただき、安心して病気に立ち向かっていただけることを願っております。

# 乳腺外科のご紹介

日本人の2人に1人が「がん」に罹患し、日本人女性の11人に1人が「乳がん」に罹患します。

乳腺外科では「乳がん」や「乳腺良性腫瘍」の診断から治療まで行ないます。

当院の健康管理センターで実施される乳がん検診(マンモグラフィ検査・超音波検査)の読影を放射線科医・乳腺外科医で行ない、2次検査・精密検査が必要か判定します。

腫瘍性病変(しこり)に対する超音波検査下の針生検や石灰化に対するマンモグラフィ下のマンモトーム生検を行ない、早期の診断を目指します。

乳がん手術は温存手術・乳房切除術とも実施し、手術時に術中迅速(センチネルリンパ節生検)を行ない、リンパ節転移のない症例には腋窩郭清を省略し、合併症予防に努めます。

全国で唯一、手術翌日から作業療法士による術後リハビリテーションを乳がん術後全員に実施します。「がんのリハビリテーション」実施施設です。乳房切除術後の方に当院形成外科で再建手術をしています。皮膚欠損の大きな腫瘍には皮弁形成や植皮術を行ないます。術前・術後の化学療法(抗がん剤)・術後内分泌療法(ホルモン治療)・術後放射線治療も院内ですべて実施しています。

手術説明や術後補助療法説明に「乳がん看護認定看護師」が同席し、「乳がん」について情報提供や指導・カウンセリングを行ないます。「がん相談」「がんサロン」を行なっています。

「乳がん」というひとつの疾患を中心に診療していますが、乳腺外科医だけでなく、放射線診断医・放射線治療医・病理診断医・麻酔科医・形成外科医・認定看護師・専門看護師・薬剤師・臨床放射線技師・臨床検査技師・作業療法士など多職種でのチームで診断・治療を行ないます。本人・家族・友人もチームの一員になります。

「がん」の診断は誰もがつらく、悲しい気持ちになりますが、たくさんの方々のサポートで皆さん前向きに治療に向かわれています。サイバーの皆さんの元氣に励まされて、日々の診療に努めています。

## マンモトーム

マンモトーム生検とは、マンモグラフィで発見された石灰化のある組織を採取する検査です。マンモグラフィを撮影しつつ、直径4mmほどの針を差し入れ、先端の小窓から組織を吸引、採取します。マンモグラフィで撮影して確認しながら行うため、組織を確実に採取することができま

す。採取する組織が大きいので、より正確に良性か悪性か診断することが可能です。検査は局所麻酔で行い、検査後はしばらく止血してテープで固定します。傷跡はほとんど残りません。検査時間は約1時間程です。

乳腺外科医長  
早野 史子

資格他

外科専門医

乳癌認定医

緩和ケアの基本教育に関する指導者研修会修了

がんのリハビリ

テーション研修会修了



～乳がんを早期に発見するために～

- 自己検診**: 月に1回、見て触ってセルフチェック  
乳がんは、体の奥深くにできるがんです。そのため、自分で観察し、触ることで発見しやすく、がんの中でも自分で発見率が高いのが特徴です。症状を認めないまま、癌(乳癌)を発見して下されい。
- マンモグラフィ**: 月に1回、触診と併用できる  
乳癌の発見に最も有効な検査は、触診と併用できるマンモグラフィです。触診だけでは見逃されることが多い乳癌は、マンモグラフィで見つけやすくなります。マンモグラフィは、乳房の奥深くにできるがんを早期に発見し、治療の機会を増やします。マンモグラフィは、乳房の奥深くにできるがんを早期に発見し、治療の機会を増やします。マンモグラフィは、乳房の奥深くにできるがんを早期に発見し、治療の機会を増やします。
- 超音波検査(エコー)**: 40歳以上の女性に実施する  
超音波検査はマンモグラフィと併用して実施します。マンモグラフィで見逃されることが多い乳癌は、超音波検査で見つけやすくなります。超音波検査は、乳房の奥深くにできるがんを早期に発見し、治療の機会を増やします。超音波検査は、乳房の奥深くにできるがんを早期に発見し、治療の機会を増やします。

【受付】新久喜総合病院 乳腺外科外来  
受付時間: 火・水・金曜日 8:30~11:30  
電話: 0480-26-0033 受付もご用ください

自分のからだは、自分で守る。

- 乳がん検診は無症状の女性が受ける。40歳から、2年に1回検診。  
しこりが2cm以下でリンパ節転移がない乳がんを発見すれば、10年生存率(10年後に生きていられる割合)は90%以上です。早期の乳がんには治療効果がありません。触ってもわからないため、腫瘍検出が重要です。触ってもわからないしこり約2cm、1cmのこの1年で2cmの大きさになる割合があります。自覚症状がないままの定期的な検診が重要です。
- 乳がん検診の目的は「乳がん死亡率を減少させること」  
早期発見、早期治療ができれば、生存率が大幅に向上し、リンパ節転移や化学療法を行わず、入院・治療期間の短縮や治療費の軽減、早期の社会復帰が可能になります。日本乳がんの発見には、マンモグラフィ・超音波検査(エコー)による検診が有効です。日本は乳がん検診の受診率が低く、受診率の向上が大きな課題になっています。
- 日本女性の12人に1人が生涯のうち乳癌を発症します。  
30~60歳の日本女性の乳がんのトップは乳がんです。年間の約5万人の女性が乳がんの診断を受けていて、年々増加傾向です。年代別では、30歳代後半から急激に増え、40歳代後半に最も多くなります。女性が家庭や社会で働き活躍する年代に多いのが特徴です。また生活環境や食生活の欧米化に伴って、60歳代前半で再び増加します。適切な乳がんなど検診で発見することも重要です。また乳がんも約1%の割合です。

## 診療概要

- 大腸肛門科では、大腸・直腸・肛門領域の診療を行い、外科では大腸癌の他に、炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎・クローン病）や大腸憩室症など良性消化器疾患に対する手術を行います。また、肛門疾患は痔核・痔瘻・裂肛に対して手術を含めた診療を行います。
- 癌診療の特徴としては①腹腔鏡手術 ②直腸癌に対する自然肛門温存手術 ③補助化学・放射線療法など、個々の患者様に適した治療提供を心掛けています。
- かかりつけ医とがん連携をとり、地域の医療機関との連携を重視した術後診療を行います。また、必要な患者さまには排便障害や人工肛門（ストーマ）ケアのサポートを行います。
- 当科では、大腸疾患に対する I)内視鏡、放射線、病理組織検査を統合して治療を計画し、II)年齢や既往症など患者様の病態に即した診療を目指します。III)排便機能障害にも専門的な知識や経験で対応していきます。



消化器センター  
副センター長 兼  
大腸肛門外科部長  
  
いわた かずつぐ  
**岩本 一亜**

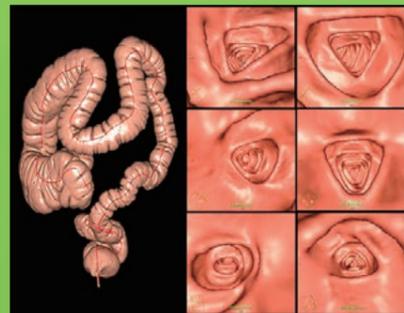
### 経歴

1990(平成2)年：防衛医科大学卒業  
1997(平成9)年：国立仙台病院  
(現仙台医療センター) 外科  
2011(平成23)年：Korea大学 外科  
大腸肛門病センター高野会くろめ病院(福岡) 外科  
2014(平成27)年：大腸肛門病センター高野会高野病院(熊本) 外科  
2020(令和2)年：新久喜総合病院 大腸肛門外科

### 資格他

日本外科学会専門医-指導医  
日本消化器外科学会専門医-指導医  
日本大腸肛門病学会専門医-指導医 評議員  
日本ストーマ排泄リハビリテーション学会評議員、ストーマ認定士

## 新しい画像診断法 大腸CT

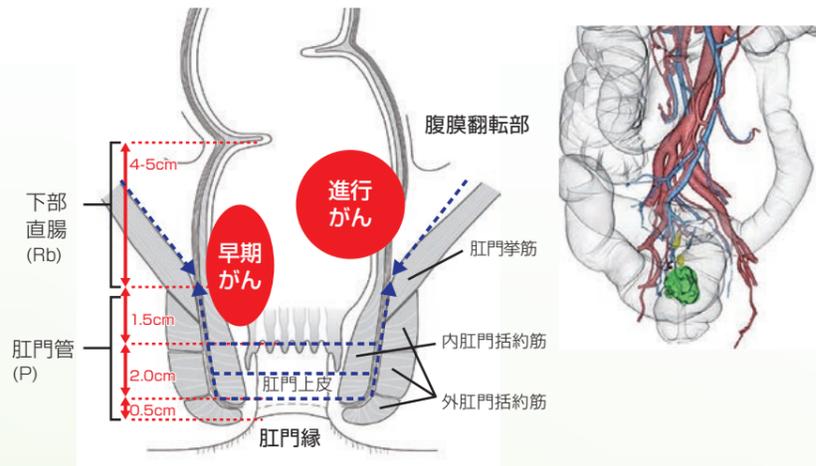


▲ CTコロノグラフィー

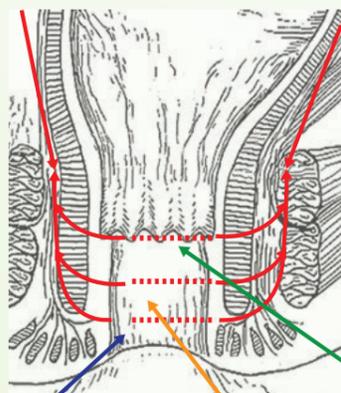
### 検査の流れ

- 1 検査前に下剤内服します。
- 2 腹満感を軽減するために炭酸ガスを用いて大腸を拡張します。
- 3 撮影時間は15秒ほどで、仰向けとうつ伏せの撮影を行います。
- 4 検査時間は10-15分ほどです。
- 5 終了後概ねガス抜きますが、腸に残った炭酸ガスは体内で吸収されます。

## 直腸癌に対する究極の肛門温存手術



## 括約筋間直腸切除術(肛門を温存する手術)の種類

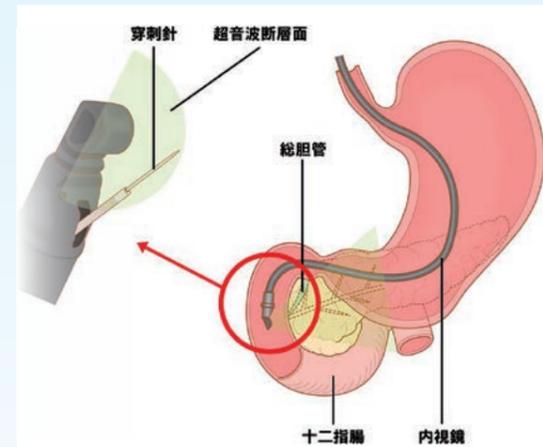


- 肛門の筋肉の切除範囲で手術を分類しています
- 術後排便機能は筋切除範囲に影響されます

全内括約筋切除   亜全内括約筋切除   部分内括約筋切除

# 2020年4月より 最新の超音波内視鏡検査システムを導入しました。

通常の内視鏡検査は消化管粘膜(表面)の観察および粘膜の細胞採取を行って診断しますが、消化管の奥にある病気は通常の内視鏡では診断が困難です。



**超音波内視鏡検査(Endoscopic ultrasonography: EUS)**は胃、十二指腸などの粘膜下腫瘍の診断を行う事ができ、また胃十二指腸内から消化管ガスの影響を受けずに膵臓を詳細に観察することが可能で、CT、MRIでも描出困難な微小な膵臓がんを発見できます。

**超音波内視鏡下穿刺吸引生検(Endoscopic Ultrasound-Fine Needle Aspiration: EUS-FNA)**は、内視鏡の先端についた超音波で診断したい病変を見ながら内視鏡の先端から細い針を出し、病変に針を差し込み吸引により細胞を採取する検査方法で、膵臓がんなどの膵腫瘍、胃、十二指腸の粘膜下腫瘍の診断、治療法を選択する上で組織学的に診断することが可能で、その正診率は約80%と報告されています。病理と連携して迅速細胞診により膵臓がんなどを高い精度で診断することができます。(2泊3日程度の入院が必要となります)



**管腔内超音波検査法(IntraDuctal UltraSonography: IDUS)**は内視鏡的逆行性膵胆管造影(ERCP)下に、胆管や膵管に細長い管状の超音波を入れて精細な超音波画像を得る方法です。超音波の端子が病変に近いこと、超音波周波数が高いことなどにより精密で多くの情報が得られます。特に膵嚢胞性疾患と膵腫瘍・胆道腫瘍では良性なのか悪性なのか判断するとき、また悪性であればどこまで病変が及んでいるかなどに威力を発揮します。

これらの検査はできるだけ苦痛がないように工夫して行っております。膵臓がんの疑いがある患者さんや膵臓の病気が心配な患者さんがいらっしゃいましたら、どうぞお気軽にご紹介ください。

### 超音波内視鏡検査に関する外来担当

粘膜下腫瘍などの消化管疾患：小野 聡 (月曜AM/木曜AM)  
膵臓がんや膵腫瘍などの疾患：青笹 季文 (月曜PM、金曜AM)

# 健康管理センターのご案内



新久喜総合病院  
健康管理センター センター長  
せんた しょういち  
**千田 彰一**

**資格他**  
認定内科医  
循環器専門医  
日本心臓学会心臓病上級臨床医  
超音波専門医・指導医  
プライマリケア認定医  
日本医師会認定産業医

## センター長挨拶

「けんしん」には、医師診察および各種の検査で全身の健康状態をチェックする「健診」と、特定の病気にかかっているかどうかを検査する「検診」があります。前者は健康の維持や疾患の予防・早期発見に役立つ二次予防に相当し「健康診査」や「人間ドック」がこれに含まれます。後者は命にかかわるような病気を早期に発見し早期に治療することを目的とした、肺、胃、大腸、乳房、子宮頸部や前立腺など各臓器のがん「検診」です。

当センターでは、「病気を治すための医療とは別に、病気にならないための医療サービス」との趣旨のもと、人間ドック(基本・脳・肺などのコース)や全国健康保険協会(協会けんぽ)の生活習慣病予防健診、特定健康診査・久喜市がん検診のほか職場健診、農業従事者健診など幅広い様態の健診・検診プランを用意しています。血液・尿検査をはじめ最新の機器を用いたX線撮影・造影・CTおよびMR・超音波・内視鏡・骨密度などの各種検査を専任医師や技師が担当し、それぞれの専門医が読影診断・評価を行って結果を発出します。病気の危険因子や不健康な行動(喫煙や過剰な飲食など)が認められる方には、一次予防として日常生活習慣の改善対策を提案し(特定保健指導)、異常所見に対しての二次検査には当院の各専門診療科をはじめご希望の医療機関にご紹介・資料提供させていただきます。

皆様も検査を受けるだけでなく、是非自らの身体と向き合い、関心を持ち、そしていつまでも健康を維持できますように健診・検診結果を役立てていただきたいと思います。

## 骨密度測定のすすめ

当センターでは人間ドックのオプション検査として骨密度測定をご用意しております。

骨密度が低下すると骨がもろくなり、骨折しやすくなります。この状態を骨粗鬆症といいます。骨粗鬆症の患者数は高齢女性を中心に年々増加しています。

骨粗鬆症は自覚症状がなく、骨折してはじめて判明することが少なくないといわれています。これを予防するためにも、現在の骨の状態を知っておくことが重要であるといえます。

当院の人間ドックを受ける機会がありましたらご自身の骨密度を調べてみてはいかがでしょうか。



米国ホロジック社製  
骨密度測定装置 ホライゾン

詳細につきましては  
健康管理センター **0480-44-8413**まで  
お問い合わせ下さい。

# 頼れる! 新久喜総合病院周辺の地域医療を支える 地域密着型医療施設のご紹介コーナー 地域医療ネットワーク

## 齋藤医院



**● 医院の特徴・特色を教えてください**  
地域の皆様に長くご利用いただいております。また土曜日や日曜日の午前中も診療していますので、平日はお忙しい方でもご受診いただけます。



さいとう ひさお  
院長 齋藤 久雄 先生

### ● 読者の方々へ一言

当院では「患者様や患者様のご家族様に寄り添う医療」と「医学的根拠に基づいた医療」を理念に置き、皆様の診療にあたっています。



**齋藤医院**  
〒346-0005 埼玉県久喜市本町1-8-2  
TEL:0480-21-0170

**診療科目**  
内科 / 消化器内科 / 循環器内科 / 小児科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
8:30~12:00	—	○	○	○	—	○	○
14:30~17:00	—	○	○	○	—	○	—

※月曜・金曜・\*最終水曜午後・祝日はお休み

## 新井医院



あらい かつのり  
院長 新井 克典 先生

**● 医院の特徴・特色を教えてください**  
糖尿病などの生活習慣病を中心に診療しております。かぜの診療や健康診断、予防注射など地域の皆様にご家族でご利用いただいております。

**● 読者の方々へ一言**  
当院は小さな診療所ですので、手術や入院加療、精密検査など新久喜総合病院にご協力をいただいております。治療や検査の後も安心して当院へ通院できるように、新久喜総合病院の専門の先生と連携して診療にあたります。



**新井医院**  
〒346-0007 埼玉県久喜市久喜北2丁目3-60  
TEL 0480-23-5350

**診療科目**  
内科 / 糖尿病内科 / 代謝内科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:30	○	○	○	—	○	○	—
15:00~18:30	○	○	○	—	○	*	—

※木曜・日曜・祝日はお休み \*土曜日は17:00まで。

